

建学の精神、基本理念について

「人には、固有の優れた特性がある。これを第一義的個性と呼び、その個性を伸ばし育て、専門性に秀でた人間の育成を図ることが、教育の本義であると考える」

これは、学園グループの創立者の言葉であり、大学をはじめ本学園の建学の精神となっている。一人ひとりが持つ個性と可能性を引き出し、教員と学生とのふれあいの中で、個人の特性を伸ばすことを意味している。

短大の「個性の伸展」とは、幼児教育者としての専門性、例をあげるならば本学独自のユニークな授業カリキュラムである『幼児教育研究会』の活動をあげることができる。

創設者が掲げた「個性の伸展による人生練磨」の理想は、関連学園全体（大学、専門学校、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、認定こども園）に於いて、総合学園へと育った現在も脈々として継続され、さらに新しい時代へと向かう道標となっている。

時代が高度成長期に入った昭和 50 年に第一保育短期大学（現福岡こども短期大学）は、同じ建学の精神のもと太宰府の現在地に設置認可を受けて開学、幼稚園教諭養成校としてスタートする。昭和 52 年には保母（現保育士）養成校としても併せ持つ地域の幼児教育者要請に呼応する保育専科（共学）の短期大学として、個性ある優秀な保育者の育成に努め現在に至っている。